

1

大学・短期大学・専門学校の特徴

大学（学部）

大学の現状

地域別の特徴

令和3年度学校基本調査によると、全大学の28.4%が1都3県の南関東（東京、埼玉、千葉、神奈川）に、全大学の17.8%が東京都に位置している。また、大学所在地別の学生数では、南関東で40.3%、東京都だけで26.1%を占めている。2府3県の近畿（京都、大阪、兵庫、滋賀、奈良）も大学を多く抱え、大学数では全国の18.2%、学生数では20.5%と、いずれも約5分の1を占めている。

また、入学者のうち「自県（出身高等学校と同一県）内の大学へ入学した者の比率」は43.4%。男女別では、男子は41.1%、女子は46.2%となっている。

なお、卒業時に得られる学位は学士である。

これからの大学のあり方とは

令和3年3月高校卒業生（全日制・定時制）の大学・短期大学等への進学率は57.4%（図1）。そのうち大学の学部へ進学した者は約9割にあたる約53万4千人で、高校卒業生（約101万2千人）のほぼ半数が大学教育を受けるとい状況になっている。

しかし、その背景には、少子化による「大学全入時代」がもたらす、学生確保に向けた大学間競争の過熱化があり、入試のあり方や大学生の学力に対する課題が提起されている。

また、少子高齢化が進行し、グローバル化が進展する現在の日本社会においては、学生一人ひとりの能力を育成すること、可能性を広げることは喫緊の課題であり、それらも含めた解決策として、文部科学省では「大学改革実行プラン」や「教育振興基本計画」を公表。教育の質的転換をはじめ、大学のガバナンス改革などにより、「知の拠点」であると同時に「地の拠点」として大学を機能させ、イノベーションの創出や若者の能力や可能性を引き出すさまざまな施策に着手するとしてきた。

地域と協働する大学へ

「大学改革実行プラン」の柱の一つに、「地域再生の核となる大学づくり」が挙げられている。そうした動きを

受け、多くの大学では「地域連携センター（名称は大学ごとに異なる）」を設置。地域の自治体、産業界、住民、そして学生、他大学との連携による、さまざまな活動を展開している。

具体的な活動としては、各地域の特色に根ざした町づくり・町おこしプロジェクトの実施や、地域住民に向けた生涯教育講座や公開セミナーの実施などがある。

高大接続改革における大学教育の改革

文部科学省は、高等学校教育改革、大学教育改革、および大学入学者選抜改革をシステムとして、一貫した理念の下、一体的に行うため、高大接続システム改革会議を設置した。その最終報告（平成28年3月31日）によると、各大学が、「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「入学者受け入れの方針」の一体的な策定を行い、三つの方針に基づいて、多様な学生が新たな時代の大学教育を受けられるようにするとしている。

オンライン授業の可能性

新型コロナウイルス感染症拡大により、2020年の大学の授業は様変わりした。同年夏までに多くの大学で実施されたのは遠隔授業であった。遠隔授業には、従来のようなプリント配布・提出という形式もあったが、ここで注目したいのはオンラインを活用した授業である。

オンライン授業もいくつか種類があり、リアルタイムで配信される双方向型、収録された授業を配信するオンデマンド型が代表例として挙げられる。それぞれ特徴があり、双方向型は通信機器・通信環境の整備は必要だが、対面授業の代わりにもなりうる。オンデマンド型は倍速で飛ばし見されることもあるようだが、繰り返して見られる長所もある。また、単一で展開するのではなく、内容によっては両方をブレンドして展開するケースもある。

いわゆるアフターコロナの大学教育は見通せないところではあるが、オンライン授業は今後も進展し、これからの教育を変えていくと考えられる。

■表1 令和3年度 国公立大学数と学部学生数

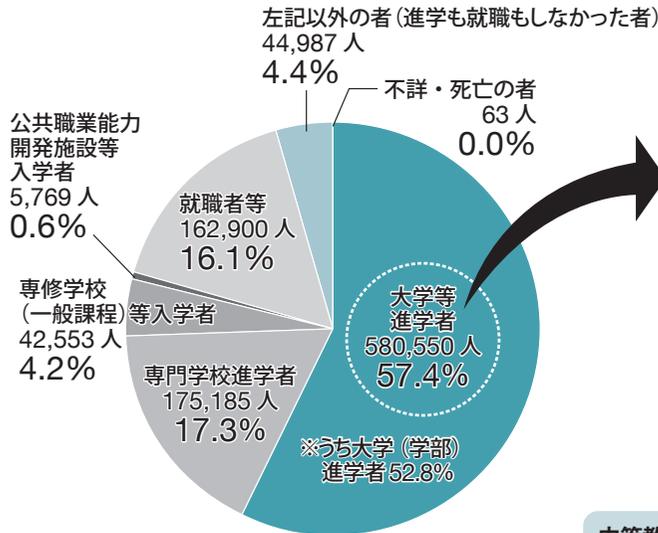
| 設置者別学校 | 学校数 | 学部学生数 |
|--------|------|------------|
| 国立大学 | 86校 | 433,610人 |
| 公立大学 | 98校 | 141,329人 |
| 私立大学 | 619校 | 2,050,749人 |
| 全体 | 803校 | 2,625,688人 |

※全体数は前年より8校増加。学生募集を停止しているが、在学生がいる大学を含む。

資料：文部科学省「令和3年度 学校基本調査」

■図1 令和3年3月 高校卒業後の進路 ※全日制・定時制

高校卒業生数 1,012,007人



大学等進学者の内訳

| | |
|----------------|-----------------|
| 大学(学部) | 534,312人(92.0%) |
| 短期大学(本科) | 40,969人(7.1%) |
| 大学・短期大学の通信教育部 | 680人(0.1%) |
| 大学・短期大学(別科) | 82人* |
| 高等学校(専攻科) | 4,501人(0.8%) |
| 特別支援学校高等部(専攻科) | 6人* |

*は小数点第1位までの割合が得られない

資料：文部科学省「令和3年度 学校基本調査」

※就職者等：自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者、臨時労働者（進学して就職した者は含まれない）

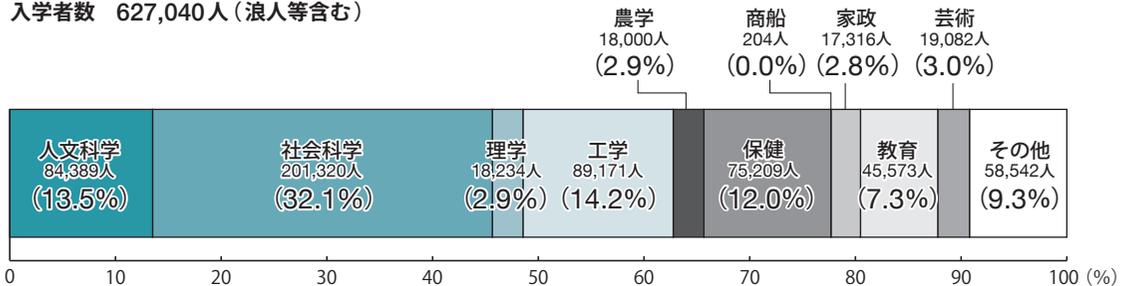
中等教育学校後期課程卒業後(5,090人)の進路

大学等進学者4,172人(82.0%)、専門学校進学者278人(5.5%)、専修学校(一般課程)等入学者371人(7.3%)、公共職業能力開発施設等入学者12人(0.2%)、就職者等47人(0.9%)、左記以外の者210人(4.1%)

約8割が大学等に進学している。

■図2 令和3年度 大学 関係学科別入学者数と比率

入学者数 627,040人(浪人等含む)



資料：文部科学省「令和3年度 学校基本調査」